

文人画コレクション

尾張地域の

面人たち

【開館時間】 午前9時30分〜午後5時(入館は午後4時30分まで)
 【休館日】 毎週月曜日(5月4日は開館)、4月30日(木)、5月7日(木)
 【観覧料】 一般300円(240円)、高校・大学生150円(120円)、
 (常設を含む) 中学生以下無料

◎ ()内は20人以上の団体。
 ◎ 一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。
 ◎ 身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(マイID可)を
 持参の方(付添人1人を含む)は無料。

2026年 3/20^金 — 5/10^日



浅井星洲「枇杷に二匹猿之図」



一宮市博物館
 ICHINOMIYA CITY MUSEUM



梅水仙花図

吉田稼雲(1827~1875)

中島郡小信中島村の酒造業の家に生まれ、幕末に天誅組を率いて挙兵する藤本鉄石と交友しました。門人も多く、没後には顕彰碑も作られました。



文人画コレクション

尾張地域の

画人たち

江戸時代は、長期間安定した社会が続いたことで、大都市だけでなく、地方の村々での文化活動も盛んになり、地域文化を支えた画人たちが全国で活躍しました。彼らは地域の文化人として、漢詩や書、思想を共有し、時に幕末の志士とも交わりながら、知のネットワークを築いていました。本展来会では、浅井星洲や吉田稼雲など、尾張西北部で活動していた画人の作品と交流関係を紹介いたします。



浅井星洲(1788~1862)

中島郡荊安賀村の庄屋に生まれ、京都で学びました。猿の絵を得意とし、その絵は「御留筆」(尾張藩主の許可がなければ、人の求めに応じて描けない)でした。

瀑布猿之図



学芸員による展示説明会 日時 4月19日(日) 午後13時30分~ 定員 なし 参加費 無料(ただし、観覧料が必要) 申込 不要



Instagram: @ichinomiya_city_museum
Twitter: @138citymuseum

Facebook: ichinomiya.city.museum
YouTube: @138museum

公式サイト



〒491-0922 一宮市大和町妙興寺2390
TEL. 0586-46-3215 <https://www.icm-jp.com>

- 名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車、南口より徒歩約7分
- JR東海道本線「尾張一宮」駅下車、タクシーで約10分
- ニコニコふれあいバス「博物館西」下車、徒歩約5分

